

第3回 橋渡し研究 戦略的推進プログラム シンポジウム

2017年

12月12日(火)

13:00~16:30

(12:30開場)

情報交換会 16:45~18:15

慶應義塾大学 信濃町キャンパス
2号館11F 大会議室・中会議室

- JR総武線・信濃町駅 徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線・国立競技場駅 A1出口から徒歩5分

プログラム

12:30 **Poster Viewing**

13:00 **開会挨拶** 慶應義塾大学医学部 天谷 雅行 医学部長
主催者挨拶 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 佐谷 秀行 センター長

13:15 **基調講演①「AMEDによる革新的医療技術創出拠点への支援と期待」**
国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)臨床研究・治験基盤事業部 河野 典厚 部長

13:45 **研究開発プロジェクトの報告**

- (1) 慶應義塾大学 中村 雅也「iPS細胞を用いた脊髄再生医療の実現に向けて」(シーズB)
- (2) 慶應義塾大学 中島 大輔「MRI Q space imagingによる筋肉、椎間板微細構造の可視化」(シーズA)
- (3) 慶應義塾大学 小川 郁「Pendred 症候群/DFNB4 内耳障害(難聴・めまい)に対するシロリムス少量療法」(シーズC)
- (4) 九州大学 岡本 勇「癌幹細胞を標的とした治療開発：進行非小細胞肺癌を対象としたプラチナ併用化学療法+サラソスルファピリジンの第I相医師主導治験」(シーズC)

15:05 **Poster Viewing & Coffee Break**

15:45 **基調講演②「構造に導かれたHIV・HBV感染症の治療薬の研究・開発」**
国立国際医療研究センター 満屋 裕明 研究所長

16:30 **閉会挨拶** 慶應義塾大学病院 北川 雄光 病院長16:45 **情報交換会** 慶應義塾大学病院 2号館11階「レストラン ザ・パーク 帝国ホテル」**入場
無料**

お問合せ先：慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター TR部門

TEL 03-5363-3474 (内線 63744) mail: apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jpURL: <http://www.ctr.hosp.keio.ac.jp/news/001687.html>

河野 典厚 部長

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

1992年4月 厚生労働省入省 薬務局
1995年4月 科学技術庁国際課
2000年5月以降 外務省在インドネシア日本国大使館一等書記官
2003年7月以降 厚生労働省医薬食品局 安全対策課、審査管理課、
医政局経済課 課長補佐
2011年7月 (独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 新薬審査第5部長
2013年7月 厚生労働省医政局研究開発振興課 治験推進室長
2015年10月 (独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 先駆け審査業務調整役
2017年7月 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
臨床研究・治験基盤事業部長、創薬戦略部長 (現職)



満屋 裕明 研究所長・理事

国立国際医療研究センター

1975年熊本大学医学部卒業、内科助手を経て1982年同医学科博士課程修了。1982年渡米、米国国立癌研究所研究員を経て現在はレトロウイルス感染症部部长。1997年より熊本大学医学部内科学第二講座教授に就任、2001年熊本大学付属病院副院長、現在は熊本大学医学部付属病院総合臨床研究部 特別招聘教授、2016年熊本大学名誉教授。京都大学ウイルス研究所客員教授、独協医科大学特任教授、千葉大学客員教授等を歴任。2014年国立国際医療研究センター・臨床研究センター長、2016年同研究所所長・理事 (現在迄)。1997~2002年 日本学術振興会未来開拓「HIV-1感染症の病理病態解析とその治療法の開発」リーダー、2008~2013年 熊本大学GCOE「エイズ制圧を目指した国際教育研究拠点」リーダー。NCI, NIHや米国学会等から受賞多数。日本では紫綬褒章、慶應医学賞、朝日賞、読売賞、日本学士院賞等を受賞。



Poster Viewing

シリーズA

- 慶應義塾大学 岡野 栄之「家族性ALS-iPS細胞を用いたハイコンテンツスクリーニング基盤の構築とALS治療薬創出の実現化」
- 東京工業大学 近藤 科江「抗体医薬に匹敵する分子標的ペプチド医薬の開発」
- 慶應義塾大学 齋藤 義正「胆道・膵臓がん幹細胞を標的とした革新的な核酸医薬の開発」
- 慶應義塾大学 栗原 俊英「オプトジェネティクスを利用した視覚再生」
- 慶應義塾大学 吉本 桂子「全身性エリテマトーデス (SLE) 治療薬としての形質細胞分化阻害剤の開発」

シリーズB

- 慶應義塾大学 松原 由美子「血小板創製技術の医療応用」
- 理化学研究所 谷口 克「新規リガンドを用いたNKT細胞標的がん治療」
- 慶應義塾大学 宮本 健史「後縦靭帯骨化症の新規治療法の創出を目指した研究」
- 慶應義塾大学 有馬 好美「がん組織内の不均一性を評価するバイオマーカーおよび治療薬の開発」
- 慶應義塾大学 三木 則尚「インプラント型透析システムを用いた腎機能補完」
- 東海大学 酒井 大輔「同種髄核細胞製品の産業化を目指した椎間板変性症に対する再生医療の実用化」
- 横浜市立大学 谷口 英樹「ヒトiPS細胞を活用した新規肝硬変治療法の開発」

シリーズC

- 慶應義塾大学 天谷 雅行「ステロイド治療抵抗性の天疱瘡患者を対象としたIDEC-C2B8の医師主導によるオープンラベルシングルアーム多施設共同第II相臨床試験」
- 慶應義塾大学 里宇 明元「Brain Machine Interface ニューロリハビリテーションシステムの開発と臨床応用」
- 横浜市立大学 高橋 琢哉「(放射性標識) 新規AMPA受容体PETイメージング製剤によるてんかん焦点同定の補助診断薬としての臨床開発」
- 慶應義塾大学 船越 建「進行期乳房外パジェット病に対するトラスツズマブ、ドセタキセル併用療法の第II相臨床試験」
- 北里大学 熊谷 雄治「心房細動に対するM201-A塩酸塩注射剤の安全性・有効性の検討—前期第II相臨床試験—」